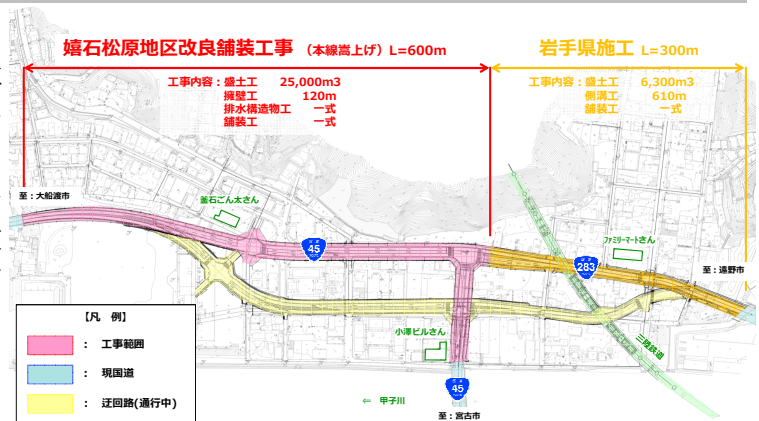


【別資料 10, 17 ページ】

国道 45 号・国道 283 号の事業進捗状況について

工事に関するお願い（お知らせ）

- 国道 45 号のかさ上げにあたり、本工事に伴う工事用車両の往来がございますので、ご理解・ご協力をお願いします。
- 施工区域内の道路は、工事の進捗状況により一時期通行できなくなる場合があります。その際は、事前に工事看板などにて周知しますので、迂回にご協力をお願いします。
- 国道 45 号のかさ上げ工事は今年度内（平成 27 年 3 月）の完成を予定しています。なお、国道の切り替え時期が決まりましたら事前にお知らせいたします。



【工事に関する問い合わせ先】

工事監督：釜石維持出張所 担当係長 館鼻（たてはな） 電話：0198-26-5014

請負業者：株式会社 熊谷組 東北支店 現場代理人兼監理技術者 町屋（まちや） 電話：0193-22-6535

このような意見をいただきました

- 補助金についてだが、住宅再建の補助金制度を作ったときの金額では、今住宅を建設することが難しい。例えば、スクラムかみへい住宅の標準モデル価格は 1000 万円だったが、今は 30%も値上がりして 1300 万円になっていると聞く。住宅の建設可能時期が遅れるたびに経費も高くなり、自力再建を諦める人が増えるので、復興住宅などに入る計画も変わるのではないかなと思う。市独自の補助金等で、追加対象や増額などを考えていないのか？
確かに資材の高騰や消費税関係などで、当初予定していた再建補助では足りない状況が発生しています。ただ、市単独でこの補助金を増額することは非常に困難で、今後国に増額を要望したいと考えております。なお、消費税のアップ分は「住まいの復興給付金」が国から支援されます。ただ、住宅再建部分への補助であり、消費税は家財、家電など全てに影響が出ますので、そういう方面からも対策、補填が必要と我々も認識しています。
- 盛土高に関して、今までの資料は各街区の中央盛土高だと思うが、実際は 1 街区の中でも宅地ごとに段々になるところがあると思う。噂では徐々に盛土高が下がるとも聞くので、もっと細かく盛土高を表示してほしい。そうでないと、家を建てて良いかもわからない。
現在詳細設計に入っており、それが終われば、ある程度個々の高さを皆さんに提示できると考えており、もうしばらくお時間をいただきたいです。また、徐々に盛土高が下がると言われた件ですが、盛土高を下げるように市は考えています。理由は、盛土高を下げることで工事を早く終わらせることにつながると考えているからです。
- 甲子川南側の川沿いに公園ができた場合、子どもたちの遊び場になる。また、釜石商工高等学校の学生もここを通ると思うが、災害に巻き込まれる危険はないのか？
大津波発生時に川沿い南側の公園に浸水することで、周辺を歩いている、もしくは遊んでいる子どもたちが危険ではとのことに対して、対策として、避難誘導を進める標識などの整備や防災行政無線放送を行うなど、危険性の周知対策をハード・ソフトの組み合わせにより行いますので、ご理解をいただきたいです。
- 説明でだいぶ話がわかってきたが、三陸沖の巨大な堤防や今回かさ上げする防潮堤が完成しなければ、安全ではないということか？
設計上は、東日本大震災レベルの津波が来た場合、防浪施設が完成しなければ、住宅に浸水することになります。
- 土地の引渡し後何ヶ月以内に建てねばならないではなく、自分が安全を確認した上で住宅建設を始めてもいいと理解したが、家を建てる時期は自分で決めていいのか？
嬉石・松原地区の事業は、区画整理であり、考え方は新たにかさ上げし画地をきれいに造成した後、権利者に土地をお返しするものです。よって基本的にそこでいつ家を建てるかは、皆さまの判断になります。

復興事業については、できる限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思ひます。
1 日も早く工事を完成させたいと思ひますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部

TEL：0193-22-2111（内線 132）
FAX：0193-22-6120